

穂別

穂別地区10月1日住基人口 3,402人(1,634世帯)
〈前月比 Δ5人(Δ4世帯)〉

地域自治区だより



森と北のほの星 ほづ

<発行元> 〒054-0211

むかわ町穂別2番地1

むかわ町穂別総合支所 地域振興課

TEL(0145)45-2111

FAX(0145)45-3048

第2期第3回穂別地域協議会開催

第2期穂別地域協議会の第3回目となる会議が10月15日(木)に行われましたので、その会議概要についてお知らせします。(詳細についてはむかわ町ホームページでも後日紹介しますのでご覧下さい。)また、前号から引き続いて第2期委員の紹介記事(第2回目)も連載しておりますので是非ご覧下さい。

《第3回穂別地域協議会の概要》

- 1.報告事項として、①富内地区の自主防災会議活動に対して、平成21年度特色ある地域づくり事業補助金の交付決定が行われたことが報告されました。今年度は2年目となり、防火訓練等が行われる予定です。
②町営バスの運行体系の変更については、10月より予約運行バス体制となったことについて報告がありました。委員からは、前回会議での報告から住民説明会を経て実施に至った経過があったが、本当に肝心の利用者に説明が行き届いていたか疑問の声があったこと、周知期間が短かったこと、新千歳空港直行バス利用者への周知不足の点について意見がありました。又、逆に利用者からは意外と混乱もなく利用できているとの声もあったとの意見もありました。町としては、実証(試験運行)期間を経て、今後改善すべき点について洗い出し、来年の本格実施に向けて利用者アンケート調査などを通じてより適正な運行となるよう検討していくことで委員の理解を求めました。
- 2.協議事項としては、穂別地区の公共施設についてが議題とされ、穂別地球体験館の現状について館長及び観光担当主管から説明がありました。施設の直接収支では毎年2千万円強(職員費含まず)の赤字となっているが、波及効果をどう捉えて考えるかでその評価が分かれる。しかし現施設のままで先がないこと等説明されました。委員からは、穂別に体験館がなくなった場合に変わりうる施設があるのか、全くなくなって良いのか、地区としての受け入れ体制(休日に店が開いていない)も取られていないこと、体験館の具体的な経費削減努力はどうだったか、改善可能性についての取組状況の説明は?、などの意見が交わされました。
行政側からは、観光サイドで初めて仕掛けた小イベントのシーズン開催により、一定程度の下げ止まり効果があったこと、体験館側ではこれまで赤字縮減策としては施設経費をいかに下げるかの検討しかされておらず、追加投資ができない財政状況下では本質的な議論が行われてこなかったこと等の説明がありました。
この問題での発言が相次ぎ、時間が経過したため、次回以降に今年から取り組んだ観光サイドでの小イベント効果の実績と評価などの資料を得ながら継続協議していくこととしました。
体験館がどういう施設であり、どういう役割を担っているのか、そして、この施設をどう有効活用すべきかは地区住民の評価と意識にかかっています。今回はこの問題に多くの時間を費やしたため、この日予定していた協議事項の廃校跡地活用については次期会議で協議することとなりました。

第2期委員のご紹介 前号から始めました第2期委員のご紹介(第2回)をします。

私は、この地域協議会が発足した平成18年8月直後の11月から委員を務めさせて頂いており、この度、第2期の委員も引き続き務めさせて頂くことになりました。町が合併して早いもので4年目を迎えています。穂別町と鶴川町の合併・経済不況による影響が多分にあるのか、穂別地域は何かしら活気が失われつつあるように近頃感じられます。



上野喜博委員

自然と健康をキーワードに、穂別地域のめざす姿(まちの将来像)として「自然と笑顔あふれる美しいまち穂別」をテーマに、第1期委員が取り組んできたこの地域に対する思いを、引き続き第2期の協議会にも伝え、各委員の意見を傾聴しながら、私自身の意見も積極的に発していきたいと考えています。この委員としての活動が、住み慣れた穂別地域の将来に少しでも役立ち、地域の皆さんと一緒に元気に暮らすことができるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

<裏面へ続く>

《第2期第4回穂別地域協議会の開催予定》

- 1 日 時：平成21年11月19日(木)午後7時～
- 2 ところ：穂別町民センター会議室(1F)
- 3 内 容：公共施設の再編(廃校の跡活用)



田中波留美 委員

この度、第2期穂別地区地域協議会委員をさせて頂くこととなりました田中波留美です。どうぞ、よろしくお願い致します。

穂別地域の活性化や診療所の問題、そして地域資源の活用等地域の課題は沢山あり、地域の皆様とともに考え、意見を聞きながら地域協議会の場で意見反映させて頂ければ良いのかと思っております。皆様のご支援をよろしくお願い致します。

第2期委員として穂別市街連合自治会より推薦を頂きました中村です。どれほど推薦頂いた期待にお応えできるかわかりませんが、今、穂別地区が抱える問題や将来の夢など、他の委員の皆さんと考えていきたいと思っております。誰もが生まれ育った地（穂別）で、何時までも安心して暮らせることが理想だと思っております。様々な職業を持つ委員が、それぞれの立場で意見を出し合い、生活や産業、医療や福祉などにおける小さな問題の解決の積み重ねにより、より理想に近づけるよう3年間の任期を務めてまいりますので、よろしくお願い致します。



中村正彦 委員

この度、稲里連合自治会より推薦を受け、本地域協議会の第2期委員となりました中村則彦です。農業を営んでおります。第1期委員としても3年間活動させて頂きましたが、何かと全てが初めてということもあり、今考えてみても穂別地区のために何かお役に立てたか疑問の残る3年間でした。第2期目は第1期委員としての経験や反省を生かしながらテーマである「自然と笑顔あふれる 美しいまち穂別」を目標に、穂別地区のため、課題を見つけ、本会委員と行政そして住民の皆さんと協力しながら、一つひとつ問題解決できるよう努力したいと思っています。3年間微力ながら少しでも穂別地区の将来のためにお役に立てればと思っていますのでよろしくお願い申し上げます。



中村則彦 委員

穂別町と鶴川町が合併し、新しい町となり3域住民が不安を抱える問題も多く、地域の不安特に病院は住民生活にとって欠かすことのでこれからは新しいまちづくりについて、一町生活感覚から問題について考え、皆さんとともに3年間、どうぞよろしくお願い致します。



三上千江子 委員

年が経過しました。しかし、医療問題など地が高まってしまった気がします。きない重要課題だと思っています。民として、働く女性や家を守る女性の視点や行政に働きかけていきたいと思っています。

【穂別地球体験館の経営収支数値資料】

平成3年10月6日オープン、平成20年度までの19年間で549千人が来館。	
入館者数ベスト3	①54,553人(H6)、②49,421人(H5)、③48,161人(H7) 平均入館者数30,096人
// ワースト3	①11,953人(H20)、②13,996人(H19)、③14,019人(H18)
入館収入ベスト3	① 3,801万円(H6)、② 3,559万円(H5)、③ 3,447万円(H7) 平均入館料1,946万円
// ワースト3	① 669万円(H20)、② 854万円(H19)、③ 854万円(H18)
総支出額ベスト3	①2,775万円(H19)、②3,016万円(H20)、③3,220万円(H18) 平均支出額 4,211万円
// ワースト3	① 5,897万円(H4)、② 5,395万円(H7)、③ 5,170万円(H9)
内人件費ベスト3	①1,258万円(H19)、②1,308万円(H16)、③1,310万円(H18) 平均支出額 1,497万円
// ワースト3	① 2,169万円(H9)、② 2,137万円(H7)、③ 2,130万円(H8)
内燃料費ベスト3	① 204万円(H4)、② 208万円(H7)、③ 210万円(H6) 平均支出額 291万円
// ワースト3	① 498万円(H18)、② 419万円(H20)、③ 408万円(H17)
内光熱水費ベスト3	① 427万円(H17)、② 444万円(H3)、③ 515万円(H19) 平均支出額 597万円
// ワースト3	① 786万円(H4)、② 712万円(H6)、③ 699万円(H9)
内修繕費ベスト3	① 107万円(H19)、② 122万円(H14)、③ 144万円(H20) 平均支出額 235万円
// ワースト3	① 475万円(H8)、② 468万円(H18)、③ 375万円(H7)
内委託費ベスト3	① 190万円(H19)、② 190万円(H20)、③ 349万円(H3) 平均支出額 415万円
// ワースト3	① 653万円(H12)、② 541万円(H7)、③ 470万円(H13)
内広告費ベスト3	① 60万円(H20)、② 76万円(H20)、③ 84万円(H19) 平均支出額 234万円
// ワースト3	① 412万円(H4)、② 351万円(H6)、③ 347万円(H3)
収支差額ベスト3	①△923万円(H5)、②△1,004万円(H6)、③△1,920万円(H19) 平均収支額△2,187万円
// ワースト3	①△2,472万円(H10)、②△2,449万円(H4)、③△2,365万円(H18)

【穂別地球体験館経済波及効果調査報告書(H13)】

・穂別を訪れる観光客の78%が体験館目当て。入館平均数26千人で約1億円の波及効果がある。しかし、波及効果を感じている事業者は全体の35%程度であり、地域全体としての有効活用が課題。

【H19地域資源活用事業報告書】

・本物のある博物館に比べ、体験館には魅力がなく、内容的にも前近代的な物。エコ的にも浪費型の施設。ガイドの案内は良い。今後の集客は期待できず、早急に結論を出すべき。